

# 平成25年度(平成24年度決算)事業評価シート(分科会・議会用)

評価者名 建設産業委員会分科会

基本施策 (半田市の目指す将来の姿)	○持続可能な事業を行う事業者が増えて、市民生活の利便性が向上しています。 ○商店街が地域に必要とされるサービス機能の充実に取り組み、コミュニティの担い手として期待が高まっています。 ○中心市街地の活性化が進み、まちの利便性が向上しています。	部課等名	市民経済部商工観光課	評価表整理No	11-010
事務事業名	11-010中心市街地商業活性化にぎわい事業				

1 項目別評価 ※評価欄の該当項目に○印を付け、判断理由・評価コメント欄に必ず記入してください。

評価項目	評価基準	評価点	判断理由・評価コメント
有効性 (基本施策に適合しているか)	①きわめて有効性が高い(85～100点)		・イベントを開催しているだけでは事業者は増えず、市民生活の利便性は向上していない。 ・中心市街地でにぎわいのある街づくりは必要であるが、今の事業に有効性はない。
	②有効性が高い(69～84点)		
	③どちらかといえば有効性が高い(53～68点)		
	④どちらかといえば有効性が低い(37～52点)		
	⑤有効性が低い(21～36点)		
	⑥有効性がない(0～20点)	○	
20			
評価項目	評価基準	評価点	判断理由・評価コメント
効率性 (より効果的な改善が可能か)	①きわめて改善の必要がない(85～100点)		効率性は悪く、改善の余地は多い。
	②改善の余地は少ない(69～84点)		
	③どちらかといえば改善の余地は低い(53～68点)		
	④どちらかといえば改善の余地は高い(37～52点)		
	⑤改善の余地は多い(21～36点)	○	
	⑥改善の必要がある(0～20点)		
30			
評価項目	評価基準	評価点	判断理由・評価コメント
妥当性 (市が行わなければならないか)	①きわめて妥当性が高い(85～100点)		妥当性は低い。
	②妥当性が高い(69～84点)		
	③どちらかといえば妥当性が高い(53～68点)		
	④どちらかといえば妥当性が低い(37～52点)	○	
	⑤妥当性が低い(21～36点)		
	⑥妥当性がない(0～20点)		
48			

※改善及び提案内容は抽象的な表現は避け、具体的に数値等を用いて表現し、箇条書きにて記入してください。

事業改善と予算提案について	
事業改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民ニーズを把握し、受益者である地権者の主導で事業に取り組むこと。</li> <li>新規起業や新規開店の促進という観点で、ビジネスプランを公募や懸賞金制度などを整備し、受益者を中心に事業に取り組むこと。</li> <li>行政は出店者の経営安定の為に、空き店舗対策以外にも、融資制度を含めた優遇施策を行うこと。</li> <li>行政が坪当たり50万円以上を投資した土地なので、低利用地が有効に活用されるよう、またマンション等集合住宅建設が促進するよう、固定資産税等、建築制限等の見直しを行うこと。</li> </ul>
予算提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>上記事業改善実施に向け予算措置をすること。</li> </ul>
少数意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>半田市は中心市街地活性化に力を入れて取り組んでいる、という意思をもっとPRすべきである。</li> <li>現在店舗のないうどん屋、パン屋、本屋などの新規起業や新規開店の促進という観点で、受益者中心に取り組むべきである。</li> </ul>

平成25年度(平成24年度決算)事業評価シート(分科会・議会用)

評価者名 建設産業委員会分科会

基本施策 (半田市の目指す将来の姿)	○農業経営が将来にわたり安定するとともに、遊休農地を活用し、地産地消が進み、食の安全と安心が確保されています。	部課等名	市民経済部 農務課	評価表整理No	12-003
事務事業名	12-003担い手育成支援事業				

1 項目別評価 ※評価欄の該当項目に○印を付け、判断理由・評価コメント欄に必ず記入してください。

評価項目	評価基準	評価点	判断理由・評価コメント
有効性 (基本施策に適合しているか)	①きわめて有効性が高い(85~100点)		・農業基盤の安定化の為、人材育成は必須であるが、今までの農業講座は抜本的な解決策となっていない。
	②有効性が高い(69~84点)		
	③どちらかといえば有効性が高い(53~68点)		
	④どちらかといえば有効性が低い(37~52点)		
	⑤有効性が低い(21~36点)		
	⑥有効性がない(0~20点)	○	
20			
評価項目	評価基準	評価点	判断理由・評価コメント
効率性 (より効果的な改善が可能か)	①きわめて改善の必要がない(85~100点)		効率性は悪く、改善の必要がある。
	②改善の余地は少ない(69~84点)		
	③どちらかといえば改善の余地は低い(53~68点)		
	④どちらかといえば改善の余地は高い(37~52点)		
	⑤改善の余地は多い(21~36点)		
	⑥改善の必要がある(0~20点)	○	
20			
評価項目	評価基準	評価点	判断理由・評価コメント
妥当性 (市が行わなければならないか)	①きわめて妥当性が高い(85~100点)		妥当性は高い。
	②妥当性が高い(69~84点)	○	
	③どちらかといえば妥当性が高い(53~68点)		
	④どちらかといえば妥当性が低い(37~52点)		
	⑤妥当性が低い(21~36点)		
	⑥妥当性がない(0~20点)		
70			

※改善及び提案内容は抽象的な表現は避け、具体的に数値等を用いて表現し、箇条書きにて記入してください。

事業改善と予算提案について	
事業改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>かぶちゃん農園などの成功した農業経営者などの話を聞き、魅力ある農業を目指した講座等を行うこと。</li> <li>行政として、他市町の成功例を参考に研修費や就業する為の補助制度を構築を行うこと。</li> </ul>
予算提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>上記事業改善実施に向け予算措置をすること。</li> </ul>
少数意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>TPP交渉の動向を注意しながら、今後の半田市畜産業について動向を検討しておくべきである。</li> <li>行政職員全般に言えることであるが、農務課の職員は農業の実務研修を行うなど、現場を知った上で施策を行うべき。</li> </ul>

平成25年度(平成24年度決算)事業評価シート(分科会・議会用)

評価者名 建設産業委員会分科会

基本施策 (半田市の目指す将来の姿)	○故人をしのぶ場として、心やすらかに斎場・墓地を利用しています。	部課等名	市民経済部環境課	評価表 整理No	13-002
事務事業名	13-002墓地管理事業				

1 項目別評価 ※評価欄の該当項目に○印を付け、判断理由・評価コメント欄に必ず記入してください。

評価項目	評価基準	評価点	判断理由・評価コメント
有効性 (基本施策に適合しているか)	①きわめて有効性が高い(85~100点)		・基本施策に適合しており、有効性は高い。
	②有効性が高い(69~84点)	○	
	③どちらかといえば有効性が高い(53~68点)		
	④どちらかといえば有効性が低い(37~52点)		
	⑤有効性が低い(21~36点)		
	⑥有効性がない(0~20点)		
		71	
評価項目	評価基準	評価点	判断理由・評価コメント
効率性 (より効果的な改善が可能か)	①きわめて改善の必要がない(85~100点)		改善の余地は少ない。
	②改善の余地は少ない(69~84点)	○	
	③どちらかといえば改善の余地は低い(53~68点)		
	④どちらかといえば改善の余地は高い(37~52点)		
	⑤改善の余地は多い(21~36点)		
	⑥改善の必要がある(0~20点)		
		69	
評価項目	評価基準	評価点	判断理由・評価コメント
妥当性 (市が行わなければならないか)	①きわめて妥当性が高い(85~100点)		・妥当性は高い。
	②妥当性が高い(69~84点)	○	
	③どちらかといえば妥当性が高い(53~68点)		
	④どちらかといえば妥当性が低い(37~52点)		
	⑤妥当性が低い(21~36点)		
	⑥妥当性がない(0~20点)		
		79	

※改善及び提案内容は抽象的な表現は避け、具体的に数値等を用いて表現し、箇条書きにて記入してください。

事業改善と予算提案について	
事業改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 静かに故人に思いを馳せるにふさわしい公共空間であるべく、古い斎場墓地の整備を行うこと。</li> <li>・ 墓地台帳の整備・管理は、スピード感を持って実施すること。</li> </ul>
予算提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上記事業改善実施に向け予算措置をすること。</li> </ul>
少数意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 墓地周辺も含めた環境美化に配慮してほしい。</li> </ul>

平成25年度(平成24年度決算)事業評価シート(分科会・議会用)

評価者名 建設産業委員会分科会

基本施策 (半田市の目指す将来の姿)	○ごみの発生抑制と分別の徹底に取り組む地域社会が形成されています。 ○より効率的で適正なごみ処理体制が築かれています。	部課等名	市民経済部 クリーンセンター	評価表 整理No	14-005
事務事業名	14-005ごみステーション整備事業				

1 項目別評価 ※評価欄の該当項目に○印を付け、判断理由・評価コメント欄に必ず記入してください。

評価項目	評価基準	評価点	判断理由・評価コメント
有効性 (基本施策に適合しているか)	①きわめて有効性が高い(85~100点)		71 ・基本施策に適合しており有効性は高い。 ・ゴミ施策は自治体が行うべきである。
	②有効性が高い(69~84点)	○	
	③どちらかといえば有効性が高い(53~68点)		
	④どちらかといえば有効性が低い(37~52点)		
	⑤有効性が低い(21~36点)		
	⑥有効性がない(0~20点)		
評価項目	評価基準	評価点	判断理由・評価コメント
効率性 (より効果的な改善が可能か)	①きわめて改善の必要がない(85~100点)		52 どちらかといえば改善の余地は高い。
	②改善の余地は少ない(69~84点)		
	③どちらかといえば改善の余地は低い(53~68点)		
	④どちらかといえば改善の余地は高い(37~52点)	○	
	⑤改善の余地は多い(21~36点)		
	⑥改善の必要がある(0~20点)		
評価項目	評価基準	評価点	判断理由・評価コメント
妥当性 (市が行わなければならないか)	①きわめて妥当性が高い(85~100点)		82 妥当性は高い。
	②妥当性が高い(69~84点)	○	
	③どちらかといえば妥当性が高い(53~68点)		
	④どちらかといえば妥当性が低い(37~52点)		
	⑤妥当性が低い(21~36点)		
	⑥妥当性がない(0~20点)		

※改善及び提案内容は抽象的な表現は避け、具体的に数値等を用いて表現し、箇条書きにて記入してください。

事業改善と予算提案について	
事業改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみステーションの新設・分散化を積極的に推進する為、ごみステーションを設置しやすい環境と仕組み作りをすること。</li> <li>ごみステーションは環境美化意識・資源化を具体的にPRする広報ステーションとして活用すること。</li> </ul>
予算提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみステーションを設置する場合は、借地料等の予算措置を講じること。</li> <li>環境美化意識・資源化を具体的にPRする広報ステーションに関わる費用は、自治区と十分協議の上、予算措置を講じること。</li> </ul>
少数意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>水切り、分別が徹底されていない。</li> <li>3R推進を図るべき。</li> </ul>

平成25年度(平成24年度決算)事業評価シート(分科会・議会用)

評価者名 建設産業委員会分科会

基本施策 (半田市の目指す将来の姿)	○伝統や歴史的資源が形成する半田らしい景観が保全され、まちへの愛着が高まっています。 ○良好な景観が形成され、うるおいとやすらぎを感じられるまちなみとなっています。	部課等名	建設部都市計画課	評価表整理No	22-004
事務事業名	22-004ふるさと景観づくり推進事業				

1 項目別評価 ※評価欄の該当項目に○印を付け、判断理由・評価コメント欄に必ず記入してください。

評価項目	評価基準	評価点	判断理由・評価コメント
有効性 (基本施策に適合しているか)	①きわめて有効性が高い(85~100点)		・目的が達成されておらず、制度そのものの見直しが必要である。
	②有効性が高い(69~84点)		
	③どちらかといえば有効性が高い(53~68点)		
	④どちらかといえば有効性が低い(37~52点)		
	⑤有効性が低い(21~36点)		
	⑥有効性がない(0~20点)	○	
20			
評価項目	評価基準	評価点	判断理由・評価コメント
効率性 (より効果的な改善が可能か)	①きわめて改善の必要がない(85~100点)		・効率性は悪く、改善の必要がある。
	②改善の余地は少ない(69~84点)		
	③どちらかといえば改善の余地は低い(53~68点)		
	④どちらかといえば改善の余地は高い(37~52点)		
	⑤改善の余地は多い(21~36点)		
	⑥改善の必要がある(0~20点)	○	
15			
評価項目	評価基準	評価点	判断理由・評価コメント
妥当性 (市が行わなければならないか)	①きわめて妥当性が高い(85~100点)		・妥当性は高い。
	②妥当性が高い(69~84点)	○	
	③どちらかといえば妥当性が高い(53~68点)		
	④どちらかといえば妥当性が低い(37~52点)		
	⑤妥当性が低い(21~36点)		
	⑥妥当性がない(0~20点)		
78			

※改善及び提案内容は抽象的な表現は避け、具体的に数値等を用いて表現し、箇条書きにて記入してください。

事業改善と予算提案について	
事業改善	<p>半田市ふるさと景観条例の周知と景観への意識向上を高めること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分たちの町をどのような街並み、景観であるべきかを地域住民自らが考え・行動し、さらに愛着のある街づくりを進めるために、地域住民の意識向上などが図れる地域の仕組みづくり(仮称:景観アップ作戦会議)を行うこと。</li> <li>地域の仕組みを後押しするため、行政は専門知識を活用し、地域住民(組織)に対し相談・助言を行うこと。</li> <li>半田市ふるさと景観づくり事業補助金は、直近3年間使われていない現状からみて、市民ニーズに合わせて補助金制度を見直すこと。</li> </ul>
予算提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>半田市ふるさと景観づくり事業補助金は、市民ニーズに合わせて補助額を増額すること。</li> <li>景観形成重点地区には、特例予算を設けること。</li> </ul>
少数意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>なし</li> </ul>